



学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和3年2月1日 No.37

《大人の働きかけで、非認知能力を育てる》

「非認知能力」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。今、この言葉が注目されています。埼玉県では、「学力学習状況調査」を実施する中で、この「非認知能力」が学力の向上に対して、どのような関係があるかを調べています。では、「非認知能力」とはどのような能力なのでしょう。

いわゆるテストなどで数値化できる能力を「認知能力」と呼びます。それに対して、テストで計測される学力やIQなどとは違い、自分の感情をコントロールして行動する力があるなど性格的な特徴のようなもの、数値で測ることのできない「内面的な能力」を指します。県の学力学習状況調査では主に4つの「非認知能力」に着目しています。

- ・ 自制心 … 自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力
- ・ 自己効力感 … 自分はそれが実行できるという期待や自信
- ・ 勤勉性 … やるべきことをきちんとやることのできる力
- ・ やりぬく力 … 自分の目標に向かって粘り強く情熱をもって成し遂げられる力

『埼玉県学力・学習状況調査報告書』より

今後、このような「非認知能力」を伸ばすにはどのような関わり方をしていくとよいかについて触れていければと考えています。また「埼玉県学力学習状況調査」の結果を近日中に5、6年児童へお返しします。

では、非認知能力はどのような働きかけで育てられるかを紹介します。

- 1 生活習慣の働きかけ…寝る・起きる時間を決めさせる、朝食をとらせる、時間管理と片づけの責任をもたせる、スマホ・PC・ゲームの約束をつくり守らせる、前日に予定合わせをさせる、あいさつを習慣化させる、人の悪口を言わせない、単語でなく文で話をさせる、話の腰を折らない
- 2 読書の働きかけ……幼少期に絵本の読み聞かせをする、本や新聞を読むよう勧める、本や新聞の感想を話題にする
- 3 家庭学習の働きかけ…決まった時間に机に向かわせる、小3頃までは親がマル付けをする、小4頃からは自分でマル付けをさせて点検する、計画的に勉強するよう促す、分からないから教えてと言わせる
- 4 会話の働きかけ……学校での出来事、勉強や成績、将来や進路、友達のこと、社会の出来事やニュースを話題にする、指示や否定でなく問いかけることによって思考・願い・疑問・発想を引き出す
- 5 体験への働きかけ……図書館、美術館、博物館、科学館などに連れていく
- 6 態度の働きかけ……結果より過程の態度をほめる、自分で決めたり言われずにできたりしたことをほめる、目標を決めて努力させる、失敗や過ちをごまかさずに対処させる、つらさを乗り越えたことをほめる

特に、中学年・高学年の子供に働きかけるときは配慮が必要です。支配的・強制的ではなく、「お父さんやお母さんはこう思うけど、あなたは思う？」と自己決定させ、親子で納得の上、根気強く取り組むことが大切です。

《校内書きぞめ展について》

新型コロナウイルス感染症対策のため1月19日から21日に予定していた校内書きぞめ展の公開を中止しました。しかし、書きぞめの学習は行い、授業の中で取り組んだ作品の校内審査を行いました。審査した作品は、小川小学校の代表として比企地区展に出品しました。その結果をお知らせします。

児童の名前は削除しました。



《明るい選挙啓発ポスター入選者について》

6年生の皆さんが取り組んでくれた作品の中から、優秀な成績をおさめた児童をお知らせします。

6年

児童の名前は削除しました。



《使わなくなった体育着を寄付してくださり、ありがとうございました》

前回の学校だよりでご家庭で使わなくなった体育着がありましたら学校へいただけないでしょうか？と掲載したところ、早速届けてくださいました。誠にありがとうございました。まだ受け付けておりますので、どうぞご協力をお願いいたします。

《zoomのテスト配信へご協力いただきありがとうございました》

1月16日（土）にzoomのテスト配信をしたところ、7割のご家庭で視聴していただきました。お忙しい中ありがとうございました。オンラインを使いこなしている家庭は、グッドマークや拍手で反応いただきました。しかし、当日つながらなかったご家庭がありましたので、再度テスト配信を行います。日時は次のとおりです。

写真映像もリニューアルしますのでよろしかったら視聴してください。

○zoomの再テスト配信日時 令和3年2月6日（土）10：00～11：30

※zoomの再テストの詳細は、後日文書でお知らせします。